

面会方法の緩和について

「オンライン面会」が6月10日(月)で廃止となり「対面面会」に変更となりました。面会される方は無症状者に限り、1回2名まで20分以内とし、患者さまと面会される方は共にマスク着用とさせていただきます。

☆面会のお申込み方法☆

受付時間 月曜日から金曜日 9時から16時まで
面会時間 月曜日から土曜日 14時から16時30分まで
日曜日・祝日 9時30分から11時まで、13時30分から16時30分まで

ご希望の方は、「事前予約制」となっておりますので受付時間内にご連絡ください。
電話番号:0493-56-3191 ※お電話をお掛け頂きましたら『面会予約』とお伝えください。

消防訓練

6月14日に自衛消防訓練を実施いたしました。
今回は中央棟C病棟から火災が発生と想定し、初期消火、通報、避難・誘導の訓練を行いました。
今後も災害時に適切に行動できるよう、訓練を行ってまいります。



外来棟改修工事のお知らせ

8月より外来棟の大規模な改修工事を実施する予定で、屋根工事、浴室改修、内装工事を行い、令和7年2月末に工事終了の予定です。

期間中、工事関係者の出入りや資材等の搬入搬出、騒音等で、入院患者さまやご来院の方々にご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解ご協力の程よろしくお願いたします。

行事食(6/7 開院記念)



御飯、鯖のアクアパッツァ
焼きベーコンのポテトサラダ
コンソメスープ、ケーキ

編集後記

日々、暑い日が続いていますね。
夏もこれからが本番です！
水分補給をして美味しい物をたくさん食べて乗り切りましょう！！



広報委員 よしはら



埼玉森林病院のホームページ <https://www.kokoro.or.jp/saitama/>

医療法人昭友会 埼玉森林病院



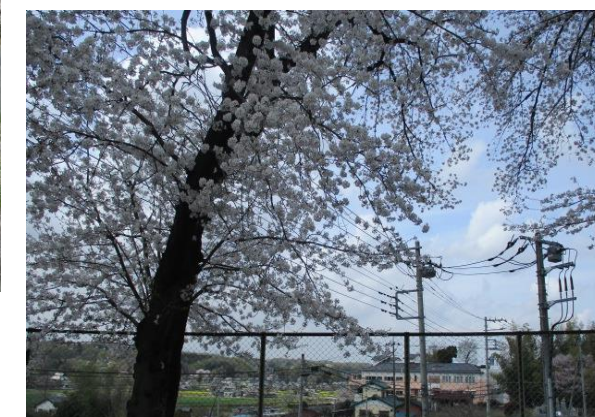
〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町和泉 704
TEL0493-56-3191 FAX0493-56-4831

デイケア 和～なごみ～



デイケア 和～なごみ～では、4月に熊谷江南小江川 1000本桜を見に出かけました。
今年は桜の開花が例年より遅かったこともあり、お花見も4月に入ってからの実施となりました。当日の天候はあまり良くなかったのですが、桜は満開で、周辺を散策していたところ多くの花見客で賑わっておりました。

また、当院の敷地内にも桜の木が植えてあります。デイケアのある4階や、高台からは病院正面の二宮山がピンクに色づく様子も見る事が出来ます。春先に当院へお越しの際には是非桜の景色を眺めてみてはいかがでしょうか。



※個人情報保護の観点から氏名の表記はひらがなとさせていただきます。

リハビリ活動紹介～モールアート～

リハビリテーション活動では、認知機能の改善や細かな作業による手の動きの向上、一つの物を集中して行う注意機能の向上を目的として様々な作業活動を行っています。

今回は新たに「モールアート」を取り入れました。工作などで使用するふわふわのモールを曲げて捻じってお花や動物の形にしていきます。たくさん色があるので組み合わせも考えながら楽しく作ることが出来ます。



オレンジカフェ

毎月第4金曜日の13:00～15:00にオレンジカフェなめがわを開催しています。

オレンジカフェとは、「認知症の方とご家族、地域の方や当院専門職などが気軽に集い交流と活動をする場」です。新型コロナウイルス感染症で人と関わる機会が減少しているなか感染対策をした上で交流できる貴重な場所となっています。

オレンジカフェなめがわでは茶話会だけでなく各専門職によるミニ講座もあります。先月は「気を付けて！脱水症（熱中症）のサイン」というテーマでミニ講座を行いました。

次回のオレンジカフェは7月26日（金）に「聞いてみよう！お薬のこと」というテーマで行います。途中参加、途中退席も出来ますのでご興味のある方、お悩みのある方、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

（※参加費として100円をいただきます。コーヒー、お茶を用意しております。）

【日程】

7月26日（金）

8月23日（金）

9月27日（金）

【ミニ講座】

聞いてみよう！お薬のこと

試してみよう！上手な栄養の取り方

作ってみよう！モザイクアート



看護部 B 病棟みなみ師長挨拶

5月1日よりデイケアからB病棟に異動した「みなみ」です。病棟勤務は久しぶりで、日々業務に慣れることに追われています。

さて、近年当院は避けては通れない問題に直面しています。それは今まで入院していた患者さまとこれから入院してくる患者さまの高齢化です。それにともない、病棟の機能も高齢者ケアを強化していくことが求められています。

高齢者ケアにおいては、その人が培って生きてきた経験や考え方、その人らしさを尊重することが重要と考えています。また、高齢者は自ら体調変化や不調を訴えることが適切に行えない場合が多いため、看護者が十分な観察と予防的なかわりをする必要があります。限られた時間や人材の中で、効率的に必要なケアを提供するには、チーム力が必要と考えます。より一層チーム力が上がるように、師長として頑張りたいと思います。

「おむつマスター」研修

看護部では前年度より正しいおむつ装着技術の習得のため、外部から指導者を招き技術チェックを行っています。各病棟から数名が代表として選ばれ、外部指導者から技術チェックを終えたスタッフは、他のスタッフに指導を行えるおむつマスターになります。おむつマスターになるためには18個のチェック項目で合格する必要があります。項目の内容に関しては清潔を保つことや、プライバシーへの配慮、ポジティブな声掛けなど基本的なことから、おむつやパッドの特性の理解や正しい使い方など多くの項目があります。

実際におむつマスターから指導を受けた職員の感想として、「パッドの使用方法から、正しい装着方法まで細かく指導してもらいました」、「自分自身のおむつ装着技術の未熟な点を再認識する事ができ、とても良い経験でした」などの声がありました。

おむつマスターの研修は看護部全職員対象ですので、今回の経験を活かし患者さまが安心して過ごせるように全職員が努力していきたいと思えます。

